

令和4年2月10日

徳島市長 内藤 佐和子 様

徳島市ごみ減量・再資源化市民会議
会長 加渡 いづみ

ごみ減量に関する提案書について

私達は、豊かで快適な生活を追求するあまり、大量生産、大量消費、大量廃棄という「使い捨て」の社会・経済システムを作り出していました。

今、社会は、このシステムから転換し、地球の大切な資源を上手に使う「循環型社会」の形成に向け取り組みをすすめているところです。

廃棄物の問題はSDGs（持続可能な開発目標）の目標とターゲットになっており、「つくる責任」など、国際レベルや企業レベルで「3R」の取り組みをスピード感を持ってすすめていく必要があります。

そして、私達一人ひとりも「つかう責任」が問われている今、家庭でできるごみ減量を「自分事」として考え取り組んでいかなければならない時代となっています。

こうした中、私たちは、令和3年9月7日、市長から家庭で取り組める「ごみ減量・再資源化」の推進を図る「徳島市ごみ減量・再資源化推進市民会議」の委員として委嘱されました。

これまでのごみに対する市民の意識や関わり方を、より深く掘り下げ、市民がごみの排出者という責任を持ちながら、今の時代にあったごみの減量化を図り資源を循環させることで持続可能な徳島市を目指していこうと、各委員それぞれが闊達な議論を展開してまいりました。

つきましては、その内容を取りまとめましたので、提案をさせていただきます。

以上